

Lib.

v.32, no.1 (Apr. 1, 2005)



特集

- ・新しいサービスが今はじまる
- ・京都産大図書館の不思議

京都産大図書館のあゆみ	8 - 9
2005 年度 図書館利用教育 年間計画一覧	9
<海外の大学図書館紹介>	10 - 12
<情報の探し方>	13
<Lib. なび>	14 - 15
図書	
雑誌	
映画	
音楽	
教員文庫寄贈一覧	16
Information	

<自著を語る>

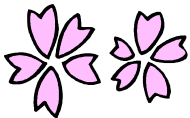
21. 『近現代の「女性天皇」論』 所功
22. 『真珠湾「奇襲」論争』 須藤真志
23. 『丸山眞男と平泉澄』 植村和秀
24. 『星占いの文化交流史』 矢野道雄

特集

新しいサービスが今はじまる

4月から、図書館新システムが稼動しています。貸出や返却処理などがスピードアップし、これから紹介するような機能も追加、3階情報検索コーナーのパソコン10台も新しくなりました。

図書館サービスがますます便利に、みなさんの学習環境がより一層向上し、快適になりました。ぜひご活用ください。



<WEB サービス> 各種申込みや利用状況照会

インターネット上から、申込者の認証後、ご自分の利用状況などを確認することができます。このサービスを希望される方は2階メインカウンターで申し込んでください。

登録・申込み

個人情報登録・修正：パスワード等の変更ができる

予約申込：他の利用者に貸出中の資料を予約ができる

利用状況照会

貸出：現在借りている資料の書名などがわかり、貸出更新ができる

予約：予約中の資料の書名、返却日等がわかる

1. 携帯電話による蔵書検索

館内外を問わずどこからでも手軽に携帯電話で所蔵状況が確認できます。ただし、パソコンでの蔵書検索と違い、機能や表示範囲が限定されます。iモード、Vodafone live、EZwebから利用できます。

アクセス：図書館ホームページからURLをご覧ください

検索対象：全資料

検索機能：キーワード、書名、著者名など



<イメージ図1>

2. 蔵書検索EZ-Cat 主な機能

パソコンによるインターネット版の蔵書検索です。新しい蔵書検索では従来の機能に加えて、次のような機能が追加されました。

- キーワード検索**：書名、著者名、件名等を一括検索できる
- 配置図の表示**：所在コードから2階、3階などの配置図が表示される
- 予約**：貸出中資料の予約ができる
(館内のEZ-Cat専用パソコンを除く)



<イメージ図2>



<イメージ図3>

4. 蔵書検索EZ-Cat リンク機能

EBSCOhost 等の契約データベースに搭載されている電子ジャーナルが検索できます。検索画面からタイトルページを経由して本文が閲覧できます。EZ-Cat で所蔵資料の検索だけでなく、このような電子資料へのアクセスが便利になりました。(学外や館内のEZ-Cat専用パソコンを除く)



<イメージ図4>

5. 3階情報検索コーナーに新PC10台導入

従来のPC環境と比べ、快適に検索や表示などができます。提供資料は、日経テレコン21などのインターネット利用のデータベースの他に、このコーナーだけで利用できる京都新聞などのCD-ROMや法律系雑誌のDVDがあります。詳しくは3階カウンターでお尋ねください。

今後の予定

今年度中に、本学が所蔵する中国語図書蔵書の蔵書検索ができる予定です。

特集

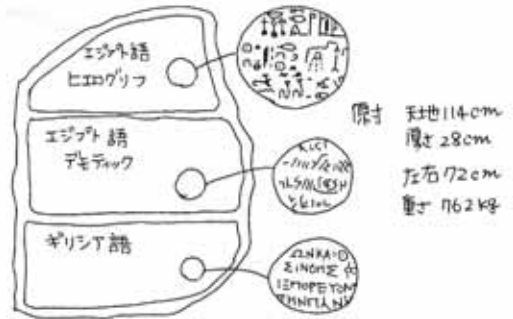
京都産大図書館の不思議

新入生のみなさん、もう大学生活に慣れましたか？
このコーナーでは、みなさんの先輩たちも気づいていない(かもしれない)
“京都産大図書館の不思議”について徹底的にご紹介します。これを読めば、
今日からみなさんも図書館の達人になることまちがいなし！？

あのロゼッタストーンを京都産大で見よう！

図書館ゲートを抜けて階段を上がるとまず皆さんをお迎えするのは、1799年ナイル河西部ロゼッタでナポレオン率いる仏軍兵士によって発見され、現在は大英博物館が所蔵している世界一有名な石。2言語3種の文字で表記された碑文は言語学の視点からも大変価値があるとの本学教員の勧めにより実物大レプリカが購入されました。付属の説明本『The Rosetta Stone』（請求記号：894.2-AND）には発見時の様子や碑文の内容、なぜイギリスに渡ったのか、ヒエログリフ記号のアルファベット表に至るまで薄い冊子の中にわかりやすく書かれています。掲載されているロゼッタ村の風景写真を見れば教科書で習った歴史とは一味違う歴史の息づかいを感じることができます。興味をそそられた方はぜひその手に取ってみてください。

大きな図書館！



歴史絵巻が現代に魅せる『葵祭の図』

加茂川沿いの松並木路を古式ゆかしく進む祭列、彼方には上賀茂御園橋が見える

メインカウンターの向かいにある壁画は中央図書館の竣工にあたり、本学所在にゆかりの襖絵を陶板壁画にしたもの。原画（大正3年作）は御室仁和寺宸殿の襖四面に描かれています。この絵を描いた原在泉は明治30年代をリードした大



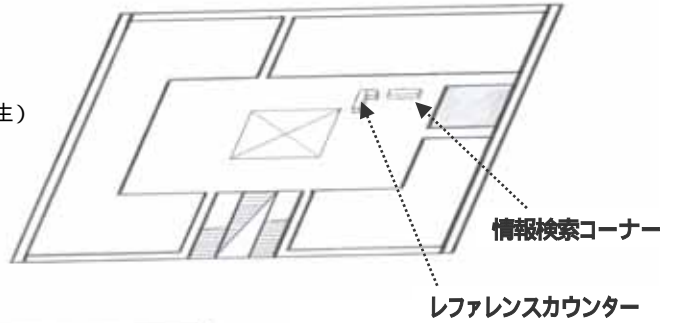
2階 陶板画「葵祭の図」

和絵風作家。原派の作風は「御所好み」ともいわれ、在泉は原派の四代目として皇室並びに寺院関係を主に活躍。維新前の騒動時も御所では一向におかまいなく御用が続き、彼自身も下僕に短冊箱などを持たせて出入りしたそうです。独自の構図を展開して近代の装飾画といえるような作風を築いたその人柄は「飾らず高ぶらず」「公平穏妥」であったといえます。

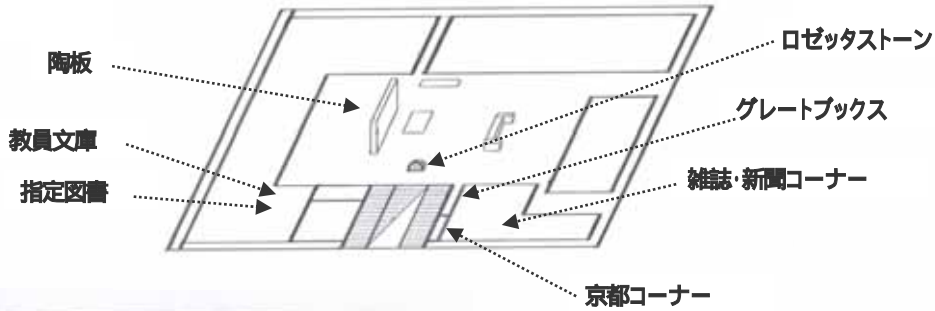
フロアマップ

Map:山岡景二郎 (デザインクラブ 3年生)

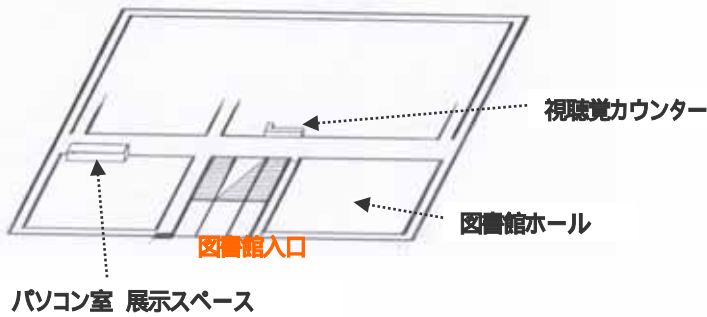
3階



2階



1階



館内

所在	ラベル	意味
3F	C3	資格・就職 参考図書
	C3-Q	
	C3-R	
2F	C2	文庫 指定図書 グレートボックス 京都関係 教員文庫 参考図書 大型本・雑誌
	C2-B	
	C2-D	
	C2-G	
	C2-K	
	C2-P	
	C2-R	
9G/C2		
1F	C1	IT/サーバ- 事務局 参考図書
	BC	
	CZ	
	CZ-R	
B1F	B1	参考図書 大型本・雑誌
	B1-R 9G/B1	
B2F	B2	参考図書 大型本 貴重書庫
	B2-R 9G/B2	
	BV	

ラベル(図書)



分類番号
著者記号
所在

本に貼ってある
ラベルの記号は何？



請求記号って何？

図書館の資料は請求記号(分類番号・著者記号・所在)にしたがって並んでいます。本の背に貼ってあるラベル(上図)がその本の請求記号です。請求記号はその本が何の分野に属するか、その本がどこにあるかを表しています。雑誌は表紙に貼ってあるラベルに雑誌名・巻号とあわせて記されています(p.6)。膨大な資料を分野ごとに分類することにより、同じ主題の資料をまとめて配架しています。

また各コーナーに分けられているものや(上図)図書館の資料でも館外にあるものもあり、これらも請求記号から所在がわかります。館外資料の多くは2階メインカウンターで請求する必要がありますが、人権センター、LLセンターの資料は直接行って利用してください。



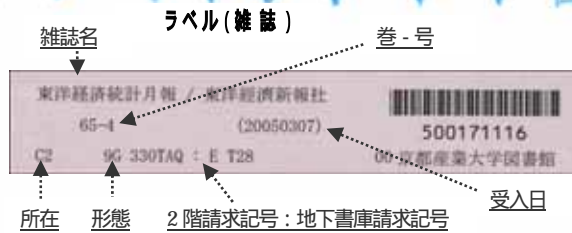
書架へ行ってみよう。
(2・3F)



国内外の最新情報はここで!!! — 雑誌・新聞

雑誌コーナーには、学術雑誌の他に週刊誌、クラブ関係、就職・資格試験に関するものなど様々な分野のものを国内・国外を問わず幅広く収集しています。ご存知でしたか？

雑誌の表紙には右上のようなラベルを貼っています。EZ-Cat で検索したものはこの例を参考に探してください。



雑誌・新聞はタイムリーな記事が命！です。貸出できませんのでご了承ください。

また、新聞コーナーには、朝日・産経・日経などの一般紙の他に、英・米・露・中・韓など各国発行の新聞や日本各地で発行されている地方新聞も揃えています。地方新聞の場合、みなさんの手元に届く頃には発行から2～3日経っていますが、きっと地方ならではの情報がいっぱい詰まっていると思います。故郷が懐かしい方も、旅行を計画している人も、ぜひ手に取ってみてください。

もっと深く京都を知るの!! — 京都コーナー

京都に関する資料を幅広く収集し、配架しています。京都の美味しいものを食べたいとき、帰り道で見つけたお寺について知りたいときなど京都に関する謎があれば、こちらのコーナーへ。知る人ぞ知る情報に出会えるかもしれません。

重要! 要チェックコーナーです!!! — 指定図書



指定図書とは、教員が担当科目の受講生に通読、または章・ページ等を指定して必読を課す、教科書以外の図書。貸出は3冊・1週間までです。

先生方の著作にふれよう!! — 教員文庫



本学教員・名誉教授の著作を集めています。『Lib.』に毎号はさみこんでいる“自著を語る”では、教員文庫にご寄贈いただいた先生方に著作についてご紹介いただいていますので、併せてご覧ください。

☆先生からのおすすめ本☆ — グレートブックス

学生に読ませたい、在学中にぜひ読んでほしいと教職員から推薦のあった専門書・教養書等を配架しています。推薦コメントをまとめた冊子を置いていますので、ご自由にお取りください。

教員文庫・グレートブックスは貸出できません。館内閲覧のみの利用となります。

他に分けられているコーナーは何?



インターネットやCD-ROMで情報を集めよう

3階にはレファレンスカウンターがあります。ここでは自分でパソコンを操作して、契約しているインターネット経由のデータベース、CD-ROMで世界の新聞や雑誌を探して画面上で読むことができます。朝日・日経・読売、The Times、The New York Times、Le Mondeといった代表的な新聞や日経BP社発行の雑誌、Newsweekといった雑誌記事も読めます。学内のパソコンなら、図書館のホームページから使うこともできます。世界中の情報を探して、読んでみませんか？

展示だよ！全員集合！！

京都産大図書館には、日頃みなさんの目にふれる機会の少ない、かつ珍しい資料がたくさんあります。これらの資料を広く紹介するため、春学期・秋学期各1回と、適宜タイムリーな話題に合わせた展示をパソコン室展示スペースで開催しています。

予告：4月18日(月)から「シェイクスピアへの扉」展を開催します。ぜひご覧ください。



「京の名水」展より



B2Λ。

イギリスのGal&Boy! 図書館ホールの

開館中は常時BBC(イギリスの国営放送)を放送しており、生きた英語にふれることができます。約180席ある図書館ホールは、あるときは講演会会場、映画館、そして時にはクラブ発表の場と様々な顔をもっています。

図書館のお宝は…貴重書庫

地下2階にある貴重書庫は、すべて木製で、木の収縮で温度・湿度の調整をしています。ここでは1700年以前に出版された稀覯本など、本学開学以来収集された貴重な学術資料を保存しています。その他に本学にゆかりのある上賀茂関連の資料や、学祖荒木俊馬先生の直筆著書などの遺産も納められています。



代表的な貴重書
コペルニクス著『De revolutionibus orbium coelestium(天球の回転について)』1543年刊
百万塔並自心印陀羅尼經 764年刊
加茂親時祭図巻 1824年刊

図書館をいっぱい
利用しよう!!



“京都産大図書館の不思議”いかがでしたか？ぜひ利用ガイドと併せて図書館を探検してみてください。ひょっとしたら、つぎの図書館の不思議が見つかるかもしれません。

京都産大図書館のあゆみ



京都産業大学は、今年で開学 40 周年をむかえます。時代のひとつの区切りとして、中央図書館のあゆみを振り返ってみました。

元本学図書館職員で、現在は阪南大学で図書館学の教鞭をとっておられる横山桂氏に京都産業大学図書館の特徴を語っていただきました。(編集部)

退職する数年前、私は「勝った」と思ったことがありました。ある民間会社が全国の学生を対象に実施した所属大学に関するアンケートで、1998 年の京都産業大学図書館が、「使いやすい」という項目で 3 位、「充実している」という項目で 5 位になったからでした。このアンケートは 2000 年にも行われて、そのときは少し順位が下がりましたが、やはりベストテンに入っていました。

皆さんの図書館は、長い歴史を誇る大学の図書館とくらべれば蔵書の量では及びませんし、平日の開館時間も夜の 8 時までで、長いほうではありません。

それでも利用する人から高く評価されてきたのは、図書館ではたらく人たちがみんな「ようこそ図書館へ!」という気持ちをもちつづけたからだろうと思います。別のことばで言いますと、京都産業大学の図書館は利用者を徹底的に大切に「利用者志向」の図書館で、これが第 1 の、そして最大の特徴だといえるでしょう。

論より証拠、図書館へ行って、いろいろな使い方をしてみてください。「利用したくなる」「利用しやすい」「利用するに値する」図書館だということが、少しずつ分かってくるはずですよ。

第 2 の特徴は、本学の図書館が 1968 年に日本で初めてコンピュータを利用した目録を作ってから、図書館の機械化をリードしてきたことです。その当時、コンピュータを使った目録は、世界的に見てもかなり早いものでした。その後、本の発注や受入処理、貸出などにもコンピュータを使いました。そのため、総合的に見ればまだよちよち歩きだった図書館に、全国の大学から見学者がたくさん来られたものでした。

そして「京都産業大学図書館といえば機械化」「機械化といえば京都産業大学図書館」という評価が長く定着していました。ただし、最近の大学図書館はみなコンピュータを活用しています。

第 3 の特徴は、学生が図書館を上手に使いこなせる

ようにするために、ライブラリー・ガイダンスを実施してきたことです。1980 年に始めたガイダンスは、初めのうちは希望者をつのって実施していましたが、希望者がなかなか増えませんでした。

そこで方針をきりかえて、語学担当の先生方をお願いして、新入生の授業の 1 時限を図書館ガイダンスに割いていただくようにしました。2000 年度からは、必修科目の情報教育授業の 1 コマで実施できるようになっています。

また、クラス単位のゼミ生、個人単位の院生、留学生、新任の教職員などにも実施していて、その徹底ぶりは日本でも有数のものといえるでしょう。

第 4 の特徴は、立派な中央図書館があることです。本学の図書館は、開学いらい、いくつかの学部図書室と中央事務室とでサービスをしてきました。そのようなやり方が限界に近づいた 1987 年に、念願の中央図書館が開館しました。これを機に、資料(本・雑誌・新聞・ビデオなど)のほとんどすべてをそこに集中し、以前よりはるかに効率的なサービスを提供できるようになりました。

品のよい色彩や家具が使われ、明るく開放的で、感じのよいこの図書館は、運営の面でもすぐれているということで、1989 年に日本図書館協会建築賞の優秀賞にかがやきました。この受賞後の数年間も、全国から見学者がたくさん訪れました。

第 5 の特徴は、先見性のある図書館長、図書館の大切さをよく理解した図書館長が、熱心で有能な職員をたくさん育ててくださったことです。先に挙げた 4 つの特徴の出発点は、つまるところ、ここにあるのではないかと思います。

横山 桂 (阪南大学教員)



写真：チリ・カトリック大学総長らに説明する横山桂氏



写真：昭和49年ごろの図書室

図書館年表

年・月	事項
昭和40年 4月	図書館開館(本館3階)
昭和41年 4月	教養部図書室開設(1号館)
昭和43年 2月	計算機による閲覧用洋書目録プリント開始 (日本図書館史上初)
4月	法学部図書室開設(4号館)
8月	第1回図書館商議会(現図書館委員会)開催 「調整された分散方式」スタート
9月	理学部図書室開設(2号館)
11月	経済・経営学部図書室開設(5号館)
	外国語学部図書室開設(3号館)
昭和44年 4月	発注・受入業務にコンピュータ導入 応用数学科(計算機科学科)図書室開設
昭和45年 9月	国立国会図書館「図書館間貸出制度」加入
昭和49年 6月	『Lib.:京都産業大学図書館報』創刊
7月	「図書館業務の機械化」が私立大学図書館協会 賞受賞
昭和53年 9月	バーコードによるオンライン出納業務テスト開始 (教養部図書室)
昭和55年 10月	洋書オンライン目録検索開始
11月	洋雑誌オンライン目録検索開始
昭和58年 3月	『京都産業大学図書館年報』創刊
昭和59年 9月	教養部図書室 BDS 稼働開始
昭和62年 10月	中央図書館開館(学部図書室を統合) 和書オンライン目録検索開始
昭和63年 7月	昭和63年度建築業協会賞受賞
平成元年 8月	学術情報センター(現国立情報学研究所)総合目録に参加
10月	日本図書館協会建築賞優秀賞受賞
平成4年 5月	学術情報センター(現国立情報学研究所)相互利用システムに参加
平成12年 4月	情報教育授業(必修)内での図書館利用教育開始(新入生対象)
平成16年 4月	法科大学院図書室開設

2005年度 図書館利用教育年間計画一覧

学生・教職員対象の図書館利用教育を年間を通して実施しています。図書館で情報活用能力をぜひ身につけてください。

実施対象	実施時期	実施内容	時間
新入生	5月(必修科目授業)	利用案内 文献探索入門編 蔵書検索実習と雑誌・新聞記事の検索方法紹介 館内案内	90分
法学部1年生	10月(プレッセミナー授業)	インターネット, CD-ROMでの新聞・雑誌記事など法学情報の検索実習	90分
ゼミ受講生	通年(ゼミ授業)	文献探索法 データベース検索実習	90分
大学院学生	4月初旬~中旬	利用案内 文献探索法 蔵書及びデータベース検索実習 院生用資料費の説明	90分
交換留学生	4・9・3月	利用案内 館内案内 蔵書検索実習	90分
新任教員	4月初旬	利用案内 研究用図書申込方法 蔵書及びデータベース検索実習 館内案内	90分
職員	9月	利用案内 業務に役立つ学術情報探索法 蔵書及びデータベース検索実習	60分
一般学生	定期試験前	レポート・論文作成法(ビデオ・検索実習)	30分
教員・大学院学生	4・6・9・11・1月	データベース検索講習会(EBSCOhost, LexisNexis Academicなど)	90分



海外の大学図書館紹介

大学と市民のために - 開かれた図書館

Biblioteca Pública

Universidad Nacional de La Plata

ラ・プラタ国立大学中央図書館

(アルゼンチン共和国)

井尻 香代子

ラ・プラタ市はアルゼンチンの首都ブエノスアイレスの南東 56 キロに位置し、人口 54 万人を擁するブエノスアイレス州の州都です(ブエノスアイレス市は日本で言えば東京都のような独立した自治体で、ブエノスアイレス州には属していません)。また、国内で指折りの歴史と規模を誇る大学都市でもあります。首都に近いので通勤通学で行き来する人も多く、15 分おきに出る高速バスが 1 時間ほどで 2 つの都市を結んでいます。料金は往復で 9 ペソ (330 円ほど) なので気軽に利用されています。この町の設計には特徴があり、カテドラルのあるモレノ広場を中心にして直線と対角線の道が左右対称に広がり、6 区画ごとに緑あふれる広場が作られています。春には大木のハカランダが薄紫の花をいっぱいにつけ、とても綺麗でした。通りの名前は全て数字名なので住所がわかりやすく、1 年の滞在中に道に迷うことはほとんどありませんでした。たとえば私が子供たちと住んでいた家は 54 の通りの 6 通りと 7 通りの間にあり、町のどこにいても数字をたどって帰ることができました。

市の北側には Bosque (森) と呼ばれる広大な緑地があり、動植物園、湖、公園、二つのサッカークラブチーム (共にアルゼンチン一部リーグです。市民はたいていどちらかのファンです) のスタジアムに加えて、国内なら知らない人のないラ・プラタ国立自然科学博物館の白い石造りの建物が聳えています。ここは大学の自然科学学部には属しています。かつて南アメリカのパンパ (大平原) で繁栄を極め、人類の登場とともに 1 万年ほど前に絶滅したサーベルタイガー、グリプトドン (全長 3 メートルほどの巨大アルマジロ)、メガテリウム (全長 6 メートルのオオナマケモノ) などの大型哺乳類の迫力ある化石をはじめ、自然科学関係の標本が何でも揃い、いつも全国から訪れる子供たちで賑わっています。



ラ・プラタ大学には文系理系あわせて 14 の学部があり、国内外から多くの学生を集めています。最近ではペルーやコロンビアなどラテンアメリカ諸国だけでなく、アメリカ合衆国やヨーロッパからも留学生が増えています。学部や付属の各種学校は市中に分散して建っているので、町はどこでも若い人が多くにぎやかです。

大学図書館は各学部付属の図書館と中央図書館に分かれています。学部図書館は主に学生向けの指定図書や参考図書をはじめ、教員が学生に必要と考える本が集められていて比較的新しい本を揃えています。閲覧室や読書室もレポートを書く学生たちの学習室といった趣です。ここでは小声ならおしゃべりもして良いという特色があり、ゼミの準備をしているグループも見かけました。一方、中央図書館は貴重な手稿や雑誌、古書のコレクションを擁して大学院生や研究者の重要な情報源となっていますが、また一般市民にも開放されていて子供でも旅行者でも充実した蔵書や雑誌・新聞を明るく落ち着いた読書室でゆっくり楽しむことができるようになっています。館外貸し出しには登録が必要ですが、身分証明書と 3 ペソ (100 円ほど) ですぐに登録カードがもらえます。

ここでは、この中央図書館を紹介しましょう。州立図書館として 1884 年に創設され、1905 年ラ・プラタ国立大学の創立とともに大学図書館となりました。現在の建物は 1934 年以後の石造りです。市の中心に近いダルド・ロチャ広場に面し、アクセスしやすい便利な場所です。正面入り口から入ると中はとても静かで、ガラス張りの天井から明るい陽光が差し込む吹き抜けの中央ロビーには貸し出しカウンター

と索引カードボックスがあり、その周りに読書室、新聞雑誌閲覧室等が並んでいます。古い石造りの壁や高い天井、重厚な木の扉が歴史を感じさせますが、内部は使いやすく改装され、バリアフリーにもなっています。蔵書数は大学図書館になった1905年には4万1冊でしたが、ラ・プラタ市のいくつかの名家の寄贈による貴重な古書を含んだコレクション等により充実し、現在は60万冊ほどということです。1998年より情報化に着手し、現在は1962年以降に出版されたものならホームページから検索が可能になっています。

ご案内くださった館員さんにこの図書館の目玉をお聞きしますと、胸を張って三つ教えてくださいました。まず、スペイン語でHemerotecaという新聞雑誌等定期刊行物閲覧室です。19世紀から20世紀にかけてブエノスアイレスで次々と刊行され、当時花開いたラテンアメリカの文学運動の中心となった諸文学雑誌の完全なコレクションから現在のものまでを含む全3,900タイトルを閲覧することができます。これら定期刊行物の保存とカタログ作成は国家レベルの事業ですが、そのなかでもこの図書館は特に重要な役割を果たしているということでした。

次に、貴重な古書や手稿の展示室（Salas Museoと呼ばれています）です。ここには例えばスペインの作家Miguel de Cervantes Saavedraの654冊に及ぶ古書コレクションがあり、『ドン・キホーテ』だけを

とってみても1608年バレンシア版や1662年の絵入版、外国語翻訳版では1622年イタリア語版をはじめ、英語、カタルーニャ語、ロシア語、セルビア語、スカンジナビア語、オランダ語、フランス語、ドイツ語などに及ぶ美しい皮装の本が非常に良い状態で保存されているのを見ることができます。

三つ目に、人文・社会科学系の研究では重要な資料となる手稿のコレクションです。特にラ・プラタ市の誇る作家・詩人であるAlmafuerte、本名Pedro Bonifacio Palacios（1854-1917）の手稿は7千点を超え、長年の調査に基づいた整理・分類の結果、まだまだ謎の多いこの作家の研究には理想的な資料です。

最後に、この図書館は「お昼のコンサート」でも人気があることをお伝えしておきたいと思います。1年のうち数ヶ月は、毎週水・木曜日のお昼に大学のオーケストラ所属の弦楽四重奏団が中央ロビーでミニコンサートを開き、その間来館者たちは本を手にしたまま、あるいはひととき読書を離れてクラシック音楽に耳を傾けます。

アルゼンチンの人々の教養レベルの高さは、1年間の在外研究員期間にしばしば感じたことですが、その秘密の一つはこんな図書館の存在にありました。Webページ<http://www.biblio.unlp.edu.ar/>もどうぞ。

（いじり かよこ 文化学部教員）

ポワティエ大学の小さな法学専門図書館

Centre de Doctorat (U.F.R. de droit et des sciences sociales, Université de Poitiers
(フランス共和国)

深尾 正樹

ここポワティエはパリから南西に約300km、TGVで約1時間半のところにあるフランス中西部の都市です。世界史を学んだことがある方なら「トゥール・ポワティエの戦い」（732年）でポワティエの名前くらいは聞いたことがあると思います。ここにはフランスではパリに次いで2番目に設立されたポワティエ大学(Université de Poitiers)があります（1431年設立）。7つの学部とその他付属機関からなる総合大学で、現在の学生数は合計2万4千人以上とのこと。ポワティエ市の人口が8万数千人程ですから、ここが大学町であることが分かっていただけだと思います。事実、街では学生であろう若者の姿を多く見かけます。

私は昨年10月より学外研究員として同大学の法学・社会科学部(Faculté de droit et des sciences sociales。以下、単に「法学部」と表記)で刑事法学の研究に従事しています。今回ご紹介するのは、自らの研究のために日常的に利用している図書館です。

ちょうど受付窓口でお仕事だったKhodor TERROさんにおうかがいしたところ、ここは法学専門の非常に小さな図書館で、蔵書数は約33,000冊余りに過ぎないとのこと。確かに私自身も日常的に利用していて、ここは日本の各大学の法学部・法科大学院に設置されている資料室のような感じもしていました（従ってここで紹介するのが果たして適切なのか、とも考えました）。しかし、実はこれには以下のような事情があります。もともとポワティエ大学の各学部は中心街Centre Villeに点在しており、例えば法学部の場合はポワティエのシンボリック建築物である12世紀に建てられたノートルダム・ラ・グランド(Notre-Dame la Grande)教会の向かいに中心的な建物があります。前記の図書館はこの法学部棟の一部を利用するかたちとなっていて、必然的に法学専門の図書館となった、ということです。他方、学生数の

増大に対応するため、1970年以降ポワティエ市郊外に新たにキャンパスを設け(文字通り Campus と呼ばれています)、各学部の低学年向けの授業がここで行われるようになった(法学部の場合は3年次生までのLicence(学士)課程が対象)ので、こちらに別途総合図書館としての大学図書館(Bibliothèque universitaire)が設けられています。しかしながら、Centre Ville では引き続き4・5年次生にあたるMaster(修士)課程およびその上のDoctorat(博士)課程が残されており、また各専攻の責任教授の執務室や秘書室も法学部棟に所在するため、とりわけ法学部教員や博士論文執筆者の研究に資するための図書館が法学部棟内に必要だという事情もあるとのこと。

このような事情のため、この図書館は「研究のための図書館」としての性格を有しており、そのことはCentre de Doctorat という図書館の名称からもうかがえますが、具体的には以下のような点に表れています。

この図書館は2階に3つ、3階に1つのあわせて4つの図書室から構成されていますが、これらの図書室が専門毎に割り当てられており、具体的には、3階の図書室は法史学、2階は民法・商法などの私法学、憲法・行政法などの公法学、そして刑事法学の各図書室となっています。各図書室の雰囲気はそれぞれ微妙に異なっているのですが、私が日常的に利用する刑事法学の図書室の様子は別掲の写真を見ていただければと思います(撮影した日はたまたま授業のない日だったのでやや閑散としております)。これらの各図書室には受付窓口の側にある通常の出入口とは別に出入口があり、その先は各専攻と通じています。研究者である教員および博士論文執筆者についてはこの出入口より出入館が可能であり、さらに文献コピーのための資料の一時持ち出しも認められています(図書館内にもコピー機は設置されています)が、このことにより各専攻の作業部屋でコピーすることが可能です。もちろん館外貸出の場合は常に受付窓口での手続が必要ですが、このようなかたちで研究に対する配慮がなされているわけです。

蔵書に関しては、前出のTERROさんによれば、やはり Campus の大学図書館に比べてより専門的な図書を揃えるようにしているとのことですが、これらの図書がほとんどすべて開架で所蔵されており、必要な図書をすぐに手に取ることができます。このため、日頃は Campus で学ぶ Licence 課程の学生が専門図書の閲覧の必要のためにわざわざこちらにやってくることが多く(ちなみに Campus から Centre Ville の法学部棟までは約3km程離れており、学生は路線バスで移動することになります)、蔵書数の少なさ

もあって十分な対応が困難だとTERROさんは苦笑されていました。また、この図書館ではポワティエ大学で審査されたものを中心に博士論文(thèse de doctorat)のタイプ打ち原稿もやはり開架で所蔵されており、とりわけ刑事法系図書室では、ある年代以降にポワティエ大学で審査された刑事法系の博士論文を整理のうえまとめて所蔵しているため、現在の博士論文執筆者が執筆の参考のために利用するうえで便利になっています。

前述の通り、Centre Ville で学ぶのは修士課程以上となるので、学生数は少なく、そのため大学のキャンパスにありがちな喧噪とは無縁です。従って、法学部棟の他の部屋に接して設置されているにもかかわらず、図書館の利用上良好な環境が保たれています。利用者も主に博士論文執筆者や高度な授業の予習・復習等に励む修士課程の学生であるので、やはりどこか緊張感があります。とはいえ、一切物音を立てられないというような過度の緊張感はなく、友人同士が館内でひそひそとおしゃべりする光景もよく見られます。

まだまだこちらの大学や図書館の仕組みを完全に理解できていないので、十分な紹介ができなかった部分があります。誤りもあるかもしれませんが、お許し下さい。また、今回の紹介の対象が特定の専門領域を対象とした非常に小規模な図書館になってしまいましたが、こういう図書館の紹介もたまにはいいのではないかと、ということにさせて下さい。

なお、ポワティエ大学が管理・運営する図書館に関する詳細については、Service Commun de la Documentation(共通資料サービス)のwebページ(<http://scd.univ-poitiers.fr/>)をご覧ください。また、今回の紹介との関連では、同大学法学部のwebページ(<http://droit.univ-poitiers.fr/>)もご参照を。結局のところ、私の今回の紹介よりもこれらのページの記載内容を読めば済んでしまうような気もしないでもないですが。

(ふかお まさき 法学部教員)



情報の探し方

このコーナーでは、現在導入しているデータベースの検索ツール等を紹介します。

9 契約データベース紹介

図書館では、学習、研究に必要な資料を用意してサポートをしています。また、図書館に来館しなくても、調べ物ができるように、事典、新聞、雑誌、人物などが調査できるデータベースを図書館のホームページから使えるように用意しています。学内のパソコンでご利用ください。

いくつか主なものを紹介します。

事典

事典・辞典類を多数収録していますので、言葉の意味などを探するのに便利です。

JapanKnowledge 百科事典、人名辞典、新語辞典、辞書、世界地図などの参考図書類や平凡社東洋文庫、および週刊『エコノミスト』の全文など。

新聞

社会で起こっている最新のニュースを探す場合、新聞記事を利用します。雑誌記事、図書になるには発行されるまでの期間が必要ですが、日刊の新聞は最新の事件を調査するのに最適です。

朝日新聞 聞蔵:朝日新聞のライオン記事データベース

読売新聞 ヨミダス文書館

日経新聞 日経テレコン 21

主要欧文新聞 LexisNexis Academic, EBSCOhost

雑誌

雑誌データベースのデータには2種類あります。

パターン1 本文が収録されており、パソコンの画面上で本文を表示し、読むことができます。

日経BP記事検索 日経BP社が発行する雑誌

パターン2 どの雑誌の何巻何号何ページに載っているかという書誌データが分かるものです。参考文献、引用文献リストにあるようなデータをイメージしてください。本文を読む場合には印刷された冊子体の雑誌自体を探し、本文を手に入れることになります。

MagazinePlus 全分野の雑誌記事索引、年報類

Web OYA-bunko 全分野(特に週刊誌、総合誌、女性誌など)の雑誌記事索引

パターン3 パターン1, パターン2のデータを両方とも含み、本文の全文がパソコンの画面上に表示できるものと、書誌データのみのものである。

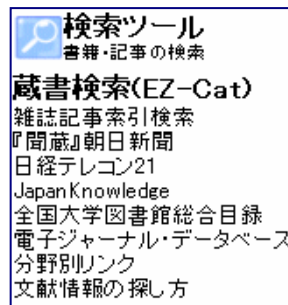
LEX/DB internet 日本の法律分野全般

欧文データベース

LRC 人物情報や文学に関する記事検索と全文

ODNB イギリスの権威ある伝記辞典

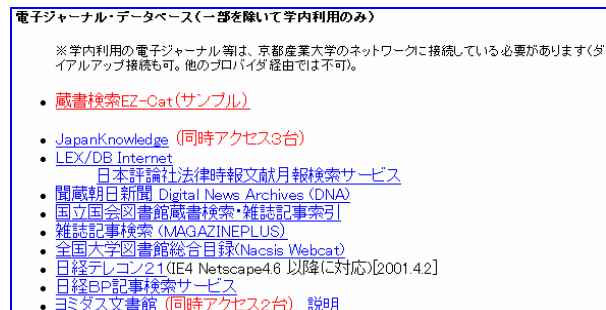
アクセス方法



検索ツール
書籍・記事の検索
蔵書検索(EZ-Cat)
雑誌記事索引検索
『聞蔵』朝日新聞
日経テレコン21
Japan Knowledge
全国大学図書館総合目録
電子ジャーナル・データベース
分野別リンク
文献情報の探し方

(検索ツールメニュー)

図書館ホームページのメニューの「検索ツール」には、よく使われるデータベース名がすぐ使えるように挙げられています。その他のものは「電子ジャーナル・データベース」に一覧リストになっています。



電子ジャーナル・データベース(一部を除いて学内利用のみ)

※学内利用の電子ジャーナル等は、京都産業大学のネットワークに接続している必要があります(ダイヤルアップ接続も可。他のプロバイダ経由では不可)。

- 蔵書検索EZ-Cat(サンプル)
- JapanKnowledge (同時アクセス3台)
- LEX/DB Internet
- 日本評論社法律時報文献月報検索サービス
- 聞蔵朝日新聞 Digital News Archives (DNA)
- 国立国会図書館蔵書検索・雑誌記事索引
- 雑誌記事検索(MAGAZINEPLUS)
- 全国大学図書館総合目録(Nacsis Webcat)
- 日経テレコン21(IE4 Netscape4.6以降に対応)[2001.4.2]
- 日経BP記事検索サービス
- ヨミダス文書館 (同時アクセス2台) 説明

(電子ジャーナル・データベース一覧画面一部)

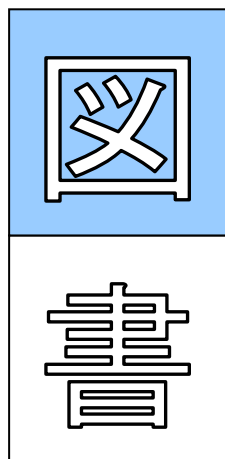
お願い

画面上に終了ボタンがある場合は、利用終了時に必ずログアウトの手続きをおとりください。

お困りの場合はレファレンスカウンターまで

図書館の膨大な資料や情報のなかから必要なものを探しだす方法、図書館にない資料や情報の入手方法など、これらのノウハウは、ガイダンスを受けたりレファレンスカウンターで相談して図書館を利用するうちに、自然に身についてくるはず。ぜひ役に立つ情報の探し方も覚えてください。

図書館を利用する上でわからないことがあればお気軽に声をおかけください。



ゲーテとの対話

私が薦める一冊、それは『ゲーテとの対話』である。本書は、若き学徒であった頃のエッカーマンがゲーテとの会話を記したものである。が、「単なる会話録」に留まるものではない。

では、「単なる会話録」と言わせない理由、すなわち、「本書の魅力」とは何か。それを私なりに表現してみようと思う。

まず、その前提として、本欄を読む方に考えて頂きたいことがある。それは、大学生生活四年間（広く人生と考えると）つても構わない）で身につけるべきことは何か、である。答えは十人十色であろう。が、私はその答えとして、「けっして使い尽すことのない資本をつくることだ」（上巻一六二頁）、このゲーテの言葉を挙げずにはいられない。文字数にして二十二文字。これほど深遠で含蓄をもつ

た言葉はない。

ただ、その言葉は具体的でないと批判されつる。が、その指摘は不適切である。読書には、右のような集約された言葉から、自分なりの回答を編み出して、自分を豊かにすることに意味がある。

最後に、私の紹介で本書の魅力が少しでも多くの人に伝わることを願う。

法字部三年生 中山 景朗

（なかやま けいいちろう）

『ゲーテとの対話』 エッカーマン著
山下肇訳 岩波書店 一九六八年

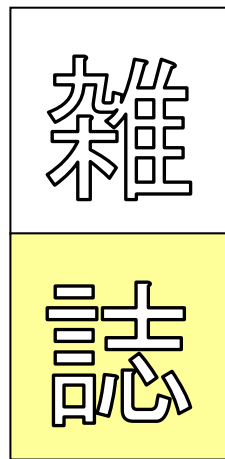


983-DOS-1 / 2階-文庫



Lib. 神山人から

遠近（をちこち）



日本語教育に携わる私の原動力となつたのは、学生時代に経験したアジア諸国の人々との交流でした。ことば、人との接し方、食事習慣、どれを取っても類似点あれば相違点もあり、私には全てが新しい発見でした。同時に彼らの日本に抱く思いを知り、「日本を伝えたい」という気持ちを強く持ったものです。

この雑誌は、国際交流・文化交流に関心がある人、海外での仕事や国際的な仕事に就きたいと考えている人に参考となる内容が満載です。異文化を理解するには、実体験だけでなく、日本に関する知識と広い視野を持ち、多少は専門的な見解も得ておくことが大切です。ここでは毎回「特集」が組まれており、スポーツ、芸術、文化、資格など、それぞれのテーマについてスペシャリストの見解やデー

々、実際の活動等が紹介されており、様々な角度から知識や情報を得ることができ

ます。
昨今の韓流ブーム、「近くて遠い国」と言われてきた韓国がここまで身近な存在として認識されるようになった今、将来の日韓関係のあり方を一人一人が考えることにもきつと繋がることでしょう。

外国語学部教員

渡辺 史央（わたなべ しおつ）

『遠近』国際交流基金

本誌は『国際交流』が二〇〇四年十月より、リニューアルされたものです。



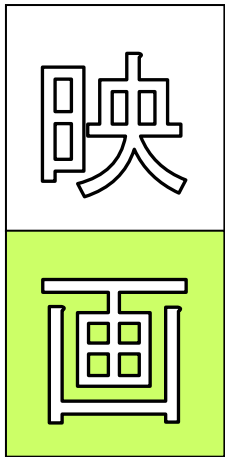
319KAH / 2階-雑誌

「僕は思った。生きよう。息をし続けよう。明日もまた太陽が昇る」「I will keep breathing」私に勇気をくれた一言。映画『キャストアウェイ』の終盤。主演のトム・ハンクスが暖炉の火を見つめながら友に語るシーンだ。

主人公は現代ビジネススマン。ある日いつものように乗った飛行機が墜落した。嵐の中、うねる大海に飲み込まれながら彼は奇跡的に小さな無人島に漂着する。たった一人のサバイバル生活。ある時彼は大海原に向かって脱出を試みる。しかしたちまち波に押し戻された。まるで木の葉のように。絶望……。生き延びる為の最大の戦いの相手は、この二文字だったのかも知れない。

毎日スイッチ一つで情報が溢れ出し、価値観も多種多様で複雑。そんな現代の日常の中、「私はこれでいいのだ」と断言

キャストアウェイ



できる事が揺らぎ続けていた。しかし「先ずは息をし続けたい」という言葉が私に安堵と勇気をくれた。

映画のラストシーン、果てしなく続く4本の道の十字路に主人公が一人。無言でこちらを見つめる。思わずたじろいでしまう。自分の心に何かを問われているようで。その何秒間かに、あなたは何を感じるだろうか。

外国語学部卒業生

桂 千香(かつら ちか)

対訳台本は『キャスト・アウェイ』

スクリーンプレイ出版 837.7-FQ / 2階

Robert Zemeckis 監督
2000年 DVD(144分)

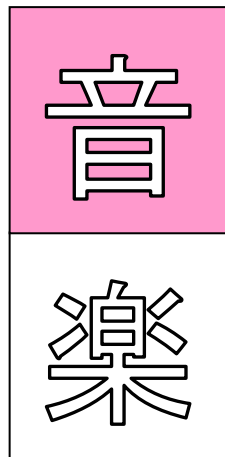


3H 778.72-ZEM
/ LL センター

なび

のオススメ!

Bal | ads



ジャズって? 普段意識して聴いていないかもしれないが、私たちの生活のあらゆるシーンでジャズが流れている。ジャズにも他のジャンルの音楽と同様、人間の感性を刺激するメロディーやリズムなどがある。そしてジャズが他のジャンルの音楽と大きく異なる点は、インプロヴィゼーション(即興演奏)が演奏者同士を触発し合いながらスリリングに展開されるといふことである。それぞれの曲には主旋律(テーマ)があり、主旋律の演奏に続き、主旋律の和音(コード)の進行に従って演奏者が交代にインプロヴィゼーションを展開していく。

ジャズは一般的にはある一定のリズム(4ビート)でスイング(横乗りリズム)しながら演奏されるイメージがあるが、今回紹介するCDはジャズのスタンダード

ドナンバーからバラード(スローな演奏)を集めたもので、ジョン・コルトレインのテナーサクソによるリリカルな主張がダイレクトに伝わってくる。バックにピアノ、ベース、ドラムスが加わったフルセット(四重奏団)による演奏で、夜中にふと目覚めた時に聴くのが最高。一曲目の「Say it」、どこかで聴いたことがありませんか?

学生部職員

山本 茂(やまもと しげる)



『Ballads』 John Coltrane quartet
1961年12月21日・1962年11月13日録音

2E 764.7-COL / 1階

教員文庫寄贈一覧

寄贈順 (10/1 ~ 3/31) 敬称略

矢野 道雄 (文化学部)

『星占いの文化交流史』 勁草書房, 2004

植村 和秀 (法学部)

『丸山眞男と平泉澄』 柏書房, 2004

米澤 勝衛 (工学部)

『野生イネの自然史 : 実りの進化生態学』 北海道大学
図書刊行会, 2003

『Core collections of plant genetic resources』 Wiley,
1995

『In-situ conservation research』 National Institute
of Agrobiological Resources, 2000

村田 博史 (法務研究科)

『土地家屋調査士の業務と制度』 三省堂, 2004

狭間 直樹 (外国語学部)

『アジアへのまなざし岡本韋庵』 阿波学会・岡本韋庵調
査研究委員会, 2004

川合 全弘 (法学部)

『追悼の政治 : 忘れえぬ人々/総動員/平和』 月曜社,
2005

所 功 (法学部)

『あの道この径・100話』 モラロジー研究所, 2004

曾我見 郁夫 (理学部)

『時空の物理学 : 相対性理論への招待』 現代数学社,
1991

『高分子物理学 : 巨大イオン系の構造形成』 朝倉書店,
2004

北澤 義之 (外国語学部)

『イスラーム地域の国家とナショナリズム』 東京大学出
版会, 2005

👉「**新入生のための必読図書**」はもう読みましたか？

メインカウンター前のフロアに、各学部の教員が新入生のために推薦した図書を展示しています。グレートブックスコーナー(教職員推薦図書)の図書と併せて、ぜひ手にとってご覧ください。

👉**資格試験コーナー資料の配列を変更しました**

これまで資格ごとに配列していた資格取得のための問題集や就職関係図書の配列を、一般図書と同様に、請求記号順に並べ直し探しやすくしました。EZ-Catで検索してご利用ください。

👉**春学期図書館利用教育の実施について**

新入生利用教育

必修科目の授業の1コマで5月中に実施します。

ゼミクラス対象文献探索ガイダンス

内容: テーマ別の文献検索法やデータベース・インターネットの検索実習

実施期間: 4月13日(水)~7月12日(火)

申込期限: 実施日の1週間前

レポート・論文作成法

ビデオ上映(35分所要)(自由参加)

内容: 『レポート・論文作成法(新・図書館の達人シリーズ)』を上映。レポートや論文を書くときの具体的な手順をドラマ形式で紹介。

検索実習(30分所要)(事前申込み制)

内容: 資料の収集に便利な「雑誌記事索引」や新聞記事の検索実習

実施期間: 6月中旬~下旬

申込場所: 1階視聴覚カウンター

* 詳細はPOSTでお知らせします。

* 今年度の図書館利用教育年間計画は本誌9ページの一覧をご覧ください。

Information

👉 **今年度の主な計画について(予告)**

「京産大書評大賞(仮称)」の実施

図書館蔵書のなかから興味・関心を持つ分野の本を対象に、学生による書評を募集します。

応募要領等はPOSTや図書館ホームページ、館内掲示によりお知らせします。

一般市民への図書館開放

本学学生・教職員の学習・研究のために収集した図書館資料を、一般市民の方々にも利用していただくことを計画し、現在準備中です。

なお、連携高校・近隣高校の生徒にはすでに夏期や春期の授業休業中に期間限定で開放しています。

▶ 編集後記 ◀

新学期がはじまり、キャンパスは活気に満ちています。新入生のみなさんにとっては、今までの高校生活とは違った、新しい大学での生活がこれから始まります。その生活のなかの1つに図書館を加えてください。あなた自身の未来のために。

ご協力いただいた出版研究会の後藤優介さん、デザインクラブの山岡景二郎さん、森田麻子さん、美術部の小金丸崇宏さん、米澤学さん、漫画部のみなさん、いろいろお世話になりありがとうございました。

発行 京都産業大学図書館

所在地 〒603-8555 京都市北区上賀茂本山

電話 (075)705-1446